

令和3年度 第1回恵那市地域包括支援センター運営協議会 会議録

日時：令和3年8月5日（木）

午後1時30分～

場所：恵那市役所会議棟 AB会議室

---

1 開会

2 あいさつ

3 自己紹介

4 議事

(1) 令和2年度 活動実績報告について

(2) 令和3年度 事業実施方針と事業計画について

(3) 令和2・3年度 歳出予算状況について

(4) 介護予防サービスプラン作成業務の委託先について

(5) その他

5 閉 会

---

## 1 開会

■事務局（進行） 定刻となりましたので、これより令和3年度 第1回 恵那市地域包括支援センター運営協議会を開催いたします。私は、本日の進行を務めます、高齢福祉課長の樋田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

まずはじめに、資料2ページ、委員名簿をご覧ください。名簿ナンバー4番に記載の歯科医師会からの代表はこれまで奥村歯科の奥村委員でしたが、この4月に役員改選があり、新たに恵那歯科医師会会長に柘植歯科の柘植紳平様をご就任されておられますので、この協議会、本年4月からは奥村委員に代わり柘植委員に変更になっている。副会長の役職も、会長指名ということで、引き続き柘植委員に願います。柘植委員には机上に委嘱書を配布しているのでこれをもってお引き受けくださいますようお願いいたします。

名簿3、医師会選出の西脇委員は当協議会の会長だが本日どうしても出席できなくなったとの連絡があった。9の壮健クラブ選出の伊藤委員、14の日赤奉仕団の長屋委員も欠席の連絡があった。了承いただきたい。

本日の会議は「恵那市附属機関等の会議の公開に会する要綱」に基づき、原則公開としている。会議録も要約版をホームページに公表する。よろしくお願いいたします。

## 2 あいさつ

■事務局（進行） 医療福祉部長の加藤からあいさつする。

■医療福祉部長 西脇会長が不在につき、私から冒頭の挨拶をさせていただきます。

本日はお忙しい中ありがとうございます。委員の皆様には高齢福祉行政、とりわけ介護福祉行政にお力添えいただき感謝申し上げます。委員の任期は2年なので今年もよろしくお願いいたします。

今年度からは計画期間を3年間とする第8期高齢福祉計画がスタートしている。これは国の計画指針に基づき、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域全体で高齢者を支えるため、地域共生社会の実現に向けて事業を進めていくものだ。恵那市の総人口は毎年約600人ずつ減少している。一方で75歳以上は年々増加し、2025年、これは団塊の世代が75歳になるときだが、このときには約1万人になる見込みだ。包括支援センターでは、平成30年度の法改正により、運営評価を行うこと、そしてその必要な措置を講じることが義務付けられている。この運営協議会は包括支援センターの評価をしていただくものであり、この評価結果を踏まえてセンターの適正な運営や業務の効率化を図って参りたいと考えている。委員の皆様には普段感じておられることやお気付きの点があれば率直な御意見を賜りたい。

コロナの感染者について。恵那市は最近たくさん新聞に出ている。要因は特に経路不明で、殆どがどこから入ってきたか分からない。一方で、年代別の感染状況は、岐阜県下で

も 70 歳以上は非常に少ない。ワクチンの効果が顕著に現れている。ワクチン接種については恵那市は割と進んでいる方。今は 40 代以上に御案内しているが、まだ受けてない人もたくさんいる。集団接種では、急に枠が空いていると、市からメールや LINE（ライン）等で情報発信して、年齢を引き下げて募集しているので、そういう情報も取得しながら、早くワクチンを打っていただきたい。濃厚接触者の取り扱いは、保健所に確認すると、これまでと同じように、濃厚接触者に認定されても、ワクチン接種を 2 回していたとしても、PCR 検査で陰性が出てから 2 週間の行動制限がかかる。従って、施設の人でも、濃厚接触者になってしまうと今までどおり 2 週間自宅待機という扱いには変わらないので、今一度感染対策もしっかり周知していただくと有り難い。

本日の議事について、慎重審議をお願いします。

■事務局（進行） 新たに就任した柘植副会長から挨拶をいただく。

■副会長 昨日、今日と暑い日が続いている。今日突然議事進行をすることになった。できれば休憩を挟まずに会議を終わりたい。スムーズな運営に協力をお願いします。

### 3 自己紹介

■事務局（進行） 加藤部長は他の公務のため退席する。自己紹介は名簿で確認していただきたい。

### 4 議事

#### （1）令和 2 年度 活動実績報告について

■事務局（進行） 議事に入る。これより、設置要綱第 4 条により、会長が議長を務めることになっている。本日は会長が不在のため柘植副会長に進行いただく。

■副会長 活動実績報告について、事務局から説明をお願いします。

[ 事務局から資料に基づき説明 ]

■副会長 質問、意見はあるか。

■青山委員 会場はどこですか。

■事務局 昨年度は恵那会場は共同福祉会館、恵南会場は岩村コミュニティセンターで行いました。

■青山委員 そこまでは自分の車で？

■事務局 バスで来たり歩いて来る人も多かった。

■副会長 デイサービスセンターゆとりの渡邊さん、自分が介護予防事業をやってきたことなどあれば。

■渡邊委員 介護予防事業のいきいき教室を開催している。コロナ禍で令和 2 年度は当初

2 カ月ほど事業休止をしたが、その間、定期利用していた人が、休止で自宅に引きこもり、体長を崩したり、認知症の症状が出たりという人がいた。こちらとしては、休止の間、1 週間に 1 度は必ず職員が、面接には行けないので、電話で家の状況や体調の確認をしていたが、それでも体調を崩して気分が落ち込む人が出た。今は感染予防をしながら、必要最小限の休止や活動の制限にしていかなければいけないと思い、継続している。介護予防には市民の意識が年々高くなっている気がする。いきいき教室の新規登録の人も増えてきて、開催日数も増やした。今まで週に 4 日開催していたが 5 日にして、それでも登録者数が増えている。好評なので、形を変えながら介護予防事業に取り組んでいきたい。

■副会長 コロナが我々の生活を一変させた。今後はコロナの中でどうしていくかを考えていかなければいけないと思う。

まんさくの小林さん、現場で気づいたことなどあるか。

■小林委員 同じく平成 2 年度の 4 月 1 カ月休んだ。週 3 回ぐらい来ていた人が、庭仕事で倒れて夕方まで発見されず、そのまま施設に入った。一人暮らしの人だった。まんさくは見守りも兼ねていて、一人暮らしの人が結構来ている。コロナの間にそういうことが起こったので、休まず、安全対策をして、継続していくことを考えている。80、90 代でも、来ている人は本当に元気で、笑いが絶えない場所なので、それが何よりもコロナの予防になっていると日々感じている。

■副会長 はつらつサポーターの樋田さん、いかがですか。

■樋田委員 はつらつサポーターの講座を受けて、少人数だがサロンをしている。コロナがあったが、高齢者が集まりたいという気持ちも多かったので、途中から予防対策をしながらやっている。包括支援センターには年 3 回講師に来ていただき、集まってただしゃべって帰るのではなく、一つでも予防につながるよということ講義をしていただいている。聞く人は 90 歳前後だが頭の刺激にもなるし大変好評を得ている。今後も包括の力を借りながら続けていきたい。

■副会長 ありがとうございます。コロナで苦労された中での活動の話。

続きを事務局から説明いただく。

[ 事務局から資料に基づき説明 ]

■副会長 質問、意見はあるか。

■繁澤委員 資料の「事業」とあるのは何か。

■事務局 「総合事業」の意味です。

■遠藤委員 11 ページ (2) 高齢者のあんしん見守り登録事業の中に、シールを貼るといふものは、これは有料か。

■事務局 有料で、3619 円。30 枚セット。

■副会長 安藤委員、何かあるか。

■安藤委員 この項目では特にはない。

薬局にいると認知症の薬を飲んでいる人が来られる。効果が上がっているのかなと疑問がある。早めの対応、服薬が望まれる。ちょっとおかしいぐらいのところで、どうそこに

アプローチするかが一番難しい。家族もいて本人の意向もあるので大変なのは分かるが、そこが一番大事だ。進んでからだと難しいと感じる。そのあたりを重点でやっていただけるといい。

■副会長 介護に行く前の予防。認知症もできるだけ早い段階でというのが重症化を防ぐ。加藤委員、何かないか。

■加藤委員 特に、12 ページで、第 1 層の会議で企画していただいた、地域の支え合い活動の発表会が、社会福祉協議会では非常によかったと評判だった。地域の中で支え合い活動をしていかなければいけないと思っている人は結構いて、実際どう進めていったらいいかという相談もよく受けていた。非常にタイミング的にも良かった。今後も第 1 層の会議のところでそういうものを企画してもらえると、地域の方も喜ばれると思う。

■副会長 小栗委員。

■小栗委員 特にない。

■副会長 繁澤委員。

■繁澤委員 認知症施策の推進のところで。初期集中支援チームのところが、新規相談や継続相談が令和 2 年度はないが会議が開かれている。このあたり、初期集中支援チームの活動や進捗状況を教えてほしい。

■副会長 事務局。

■事務局 初期集中支援チームは月 1 回集まって地域での医療にもつながらない、介護にもつながらないという相談を、ケアマネからが一番多いが、検討している。そういう人は何年も医者にかかっていなくて、掃除もできていないようなところに住んでいる人が幾人かいる。そういうところで、どういった方向で介入していくのが一番ベストなのかを相談することが多い。なかなか人を受け入れてもらえない。2 人チームを組んで訪問しても、最初の第一段階では話もしてくれず、2 回、3 回と数を重ねるうちに、少しずつ心を開いてくださることがある。1 カ月に 1 件話し合うというわけではなくて、1 年 2 年かけて取り組んでいく事例が多い。

■副会長 令和 2 年度の実績はなかったのか。

■事務局 10 件ぐらいある。

■副会長 渡邊委員。

■渡邊委員 11 ページ③、チームオレンジの活動について。前年度の会議で、令和 2 年度にチームオレンジを立ち上げて活動するというので、期待していたが、活動実績がないのはコロナの影響か。

■事務局 そうだ。集まりたくても集まれなかった。今年度はぜひ取り組みたい。

■渡邊委員 ぜひ活動してほしい。

■副会長 他になければ次に移る。

[ 事務局から資料に基づき説明 ]

■副会長 質問、意見はあるか。

土本委員、いかがか。

■土本委員 任意事業の中で私が所属している成年後見センターがあるので説明したい。市長申立の場合、多いか少ないかで言うと中ぐらいかという気がする。ただ、やみくもに市長申立をしなければいけないということではない。税金を使うので、親族の協力が得られる方については親族に、本人がやれるなら本人。その辺の支援をうちのセンターでやっている。どうしても、必要だったけど誰も申立をする人がいない場合に、市で協議していただき市長申立という流れになっている。県内では多い方だ。東濃は多い。受け皿があるからだ。うちのセンターは申し立てる人で誰も受任者がいなければ受けることになっている。必要なら申し出ていただきたい。

成年後見制度も、国の施策も若干変わってきた。相談業務を別の部署でそこが中心になって行う形に変わってきている。ただ、去年はうちのセンターで受任された人が 24 名。大体年間それぐらい受けている。亡くなられた方が 10 名ぐらいいるので、年々10 名ぐらい増えていく。

■青山委員 民生委員だ。月に 1 回独居の方の見守りに行く。時々民生委員の中で困った事例として、毎回今日も明日も訪ねその次も訪ねて、何度訪ねても留守で、近所の人に聞いても分からない。大分経ってから、たまたま知り合ったケアマネさんが、この方はいないですと教えてくれたり、緊急通報システムを設置するときに市役所から依頼を受けて立ち会いサインをしたのにもかかわらず、数回行ったら亡くなって、市では緊急システムを外した時点で多分分かっているんじゃないかと思うが、ものすごく連携が悪いとみんな言っている。分かれば教えていただきたい。たまたま知り合ったケアマネに教えていただいて分かるぐらいだ。私たちはあくまでもボランティアだがそれでも責任はある。

■副会長 これからやっていただく課題が出た。事務局から何かあるか。

■事務局 緊急通報システムの件では御迷惑をおかけして申し訳ない。ケアマネや民生委員に立ち会っていただいて設置したもののなので、しっかり連携を図っていきたい。

■副会長 他に。

■遠藤委員 13 ページ⑦。家族支援サービスのGPS貸与は上限があるか。

■事務局 GPSは前年の所得の課税状況により無料から上限 500 円になっている。

■遠藤委員 月 500 円か。

■事務局 そうだ。

■遠藤委員 これは申請すれば誰でもできるのか。

■事務局 申請すると包括支援センターの職員がお邪魔して体の状況を調査させてもらう。利用できるのは、認知症により徘徊する高齢者と同居し常時介護を要する方。

■遠藤委員 ⑧の協定業者は。

■事務局 いろいろな事業所がある。新聞配達店、宅配弁当、定期的に食品等を持っていく事業所、郵便局、金融機関、新しいところでは喫茶店。

■副会長 他にあるか。無ければ次に移る。

[ 事務局から資料に基づき説明 ]

■副会長 ほかに質問はあるか。

では、(1)について承認する人は挙手してほしい。

[ 全員挙手 ]

■副会長 ありがとうございます。(1)は承認された。

### (2) 令和3年度 事業実施方針と事業計画について

[ 事務局から資料に基づき説明 ]

■副会長 質問はあるか。これは前回の会議でやったもので、今回は追加分。

では、今のことについて承認する人は挙手してください。

[ 全員挙手 ]

■副会長 ありがとうございます。(2)は承認された。

### (3) 令和2・3年度 歳出予算状況について

■副会長 事務局から説明をお願いします。

[ 事務局から資料に基づき説明 ]

■副会長 質問はあるか。これは増えているところはどこか。説明いただくと2年度と3年度の違いが分かる。

■事務局 区分1の一般介護予防事業は、介護予防普及啓発事業が大きく増えている。こちらは令和2年度は、6ページの一般介護予防事業参加者が前年度から大分減っている。コロナの関係で26%の参加であったせいもある。今年度は、コロナもあるが、感染予防対策を実施しながらこの事業を実施していきたいということで大きく増えている。

■副会長 令和3年度が増えたのではなく2年度が減ったということか。

■事務局 そうだ。

■副会長 ほかに質問はあるか。

では、これについて承認する人は挙手してほしい。

[ 全員挙手 ]

■副会長 ありがとうございます。

### (4) 介護予防サービスプラン作成業務の委託先について

■副会長 事務局から説明をお願いします。

[ 事務局から資料に基づき説明 ]

■副会長 質問はあるか。

なければ、これについて承認する人は挙手してほしい。

[ 全員挙手? ]

■副会長 ありがとうございます。

## (5) その他

■副会長 その他何か意見等あるか。

なければ、議事が終わったので事務局にマイクを返す。

## 5 閉 会

■事務局（進行） 副会長には急遽の議長をお願いしスムーズな進行をいただきありがとうございました。次回の運営協議会は、何もないければ年明けを予定している。近づいたら改めて連絡する。本日は長時間ありがとうございました。雷、雨に気を付けてお帰りください。これで閉会する。

[ 閉 会 ]